

## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム  
 コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 樋口 勤  
 (氏名) 古川原 英彦

TEL 0256-33-3987

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	34,328	2.0	713	3.5	749	2.6	466	15.9
26年3月期第3四半期	33,640	4.9	689	6.0	730	5.2	402	115.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 491百万円 (21.7%) 26年3月期第3四半期 404百万円 (115.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	47.44	—
26年3月期第3四半期	40.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	16,057	5,640	35.1	572.95
26年3月期	15,430	5,201	33.7	528.38

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 5,640百万円 26年3月期 5,201百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
27年3月期	—	5.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	4.7	920	10.2	950	7.0	500	47.0	50.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	10,833,000 株	26年3月期	10,833,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	989,078 株	26年3月期	989,037 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	9,843,923 株	26年3月期3Q	9,843,974 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策及び日本銀行による金融緩和政策により製造業を中心として国内景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら消費者物価の上昇による実質賃金の低下により購買意識は低迷しており、依然として不透明な経済状況が続いております。

食品業界におきましても、業種・業態を越えた価格競争の激化や急速な円安による食品原料価格の上昇、慢性的な人手不足など依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは『より良いものをより安く』の理念のもと、「安全・安心」で低価格な商品を提供するために競争力のある収益構造の構築を目指し、更なる企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は343億28百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は7億13百万円（前年同期比3.5%増）、経常利益は7億49百万円（前年同期比2.6%増）、当四半期純利益は4億66百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (スーパーマーケット事業)

「チャレンジャー」部門につきましては、消費税増税前の駆け込み需要の反動による影響は酒類などの賞味期限の長い一部の商品に留まり、日配品や青果の売上は伸び悩んだものの、生鮮部門の中でも肉・魚・惣菜の売上は好調に推移し、粗利益率は前年に比べ上昇いたしました。

「業務スーパー」部門につきましては、青果や精肉を積極的に取り入れ、お客様の利便性の向上を図ってまいりましたが、開店して間もない店舗の売上が予定を下回る状況で推移したことに加え、物流費の値上がりと体制の見直しによる人件費の増加により、利益面では前年を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は244億29百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は6億67百万円（前年同期比34.0%増）となりました。

#### (弁当給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、前連結会計年度より始めたパンの販売を順調に拡大し、宅配弁当との相乗効果が現れたことに加え、一部店舗で「鍋」や「麺」を取り入れた日替わりメニューの販売を始めるなど、積極的に商品開発にも取り組みました。また、事業縮小を行った同業他社より新潟県柏崎市エリアの顧客を譲り受けたこともあり、当第3四半期連結累計期間における1日当たりの平均販売食数は74,500食（前連結会計年度末比3.3%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は49億38百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は3億26百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

#### (食材宅配事業)

食材宅配事業につきましては、新規顧客獲得に向けたキャンペーンなどの販促活動を積極的に行ってまいりましたが、他業種による食品宅配サービス等の拡大などから既存の顧客数が減少し、売上高は減少いたしました。利益面につきましても、原材料及び人件費の見直し等通常の前原低減に加え、販売促進に係る経費の見直しによりコスト削減に努めましたが前年を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は37億10百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント利益は2億29百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

#### (惣菜製造事業)

「惣菜受託製造」部門につきましては、コンビニエンスストア向け惣菜製造の受託先の変更が計画通りにはいかず、受託量が大幅に減少しました。利益面につきましても、製造経費の低減にも努めたものの対応が間に合わず、予定していた粗利益が確保できず厳しい状況で推移いたしました。

「こしひかり弁当」（首都圏オフィス向け店頭販売弁当）部門につきましても、競合他社との価格競争の影響から新規代理店数も減少しており販売食数は予定を下回る状況となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は6億86百万円（前年同期比13.0%減）、セグメント損失は1億3百万円（前年同期はセグメント損失29百万円）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館「海風亭 寺泊 日本海」につきましては、旅行代理店からの送客が多く日帰りの来客数は増加しましたが、地域全体における県外からの観光客の減少により宿泊者数は前年を下回る結果となりました。

その他の外食部門として、新潟市が誇る食と花の魅力を発信する複合施設「いくとびあ食花」内に、季節感あふれる料理をビュッフェスタイルで提供する「キラキラレストラン」(新潟市中央区)、ならびに同市が農業を学ぶ場を提供する教育ファーム「アグリパーク」内に、かまど炊きにこだわったご飯をメインとした「農家れすとらん米どころん」(新潟市南区)をともに6月下旬オープンいたしました。出店に係る費用と、施設への来場者数が当初の予想を下回り厳しい状況となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は5億61百万円(前年同期比28.4%増)、外食部門の出店費用によりセグメント損失は1億51百万円(前年同期はセグメント損失40百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億27百万円増加し、160億57百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億88百万円増加し、104億17百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億38百万円増加し、56億40百万円となりました。この結果、自己資本比率は1.4ポイント上昇し、35.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回発表(平成26年5月14日)の業績予想に概ね沿う形で推移しており、今後も業績に大きな影響を与える可能性のある要因がないと考えられるため、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の基礎となる期間の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく決定方法から、退職給付支払ごとの支払見込期間を反映する決定方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が85,264千円増加し、利益剰余金が55,106千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,150,826	2,468,903
売掛金	981,591	953,303
商品	1,168,547	1,375,416
原材料及び貯蔵品	152,389	157,943
その他	434,563	521,092
貸倒引当金	△9,043	△5,403
流動資産合計	4,878,875	5,471,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,721,523	4,592,111
土地	3,062,074	3,080,461
その他（純額）	649,121	623,000
有形固定資産合計	8,432,720	8,295,574
無形固定資産		
のれん	713	7,594
その他	291,361	271,197
無形固定資産合計	292,075	278,791
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	102,106
その他	1,843,500	1,925,200
貸倒引当金	△17,047	△15,453
投資その他の資産合計	1,826,452	2,011,852
固定資産合計	10,551,247	10,586,218
資産合計	15,430,123	16,057,474
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,616,784	3,313,479
短期借入金	1,177,002	997,732
未払法人税等	110,860	147,088
賞与引当金	192,060	87,083
その他	1,170,826	1,502,406
流動負債合計	5,267,534	6,047,790
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	2,587,148	1,950,725
リース債務	254,498	265,793
退職給付に係る負債	1,348	19,802
役員退職慰労引当金	355,918	376,517
資産除去債務	460,296	476,857
その他	502,035	479,908
固定負債合計	4,961,244	4,369,603
負債合計	10,228,779	10,417,393

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	4,761,133	5,174,950
自己株式	△751,582	△751,613
株主資本合計	5,178,041	5,591,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,625	38,507
退職給付に係る調整累計額	13,676	9,745
その他の包括利益累計額合計	23,302	48,253
純資産合計	5,201,344	5,640,081
負債純資産合計	15,430,123	16,057,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	33,640,883	34,328,294
売上原価	25,326,064	25,752,712
売上総利益	8,314,819	8,575,581
販売費及び一般管理費	7,625,342	7,861,656
営業利益	689,476	713,925
営業外収益		
受取利息	268	189
受取配当金	9,916	8,786
その他	74,679	61,186
営業外収益合計	84,865	70,162
営業外費用		
支払利息	33,344	30,978
その他	10,028	3,128
営業外費用合計	43,373	34,107
経常利益	730,967	749,979
特別利益		
固定資産売却益	19	—
投資有価証券売却益	—	404
受取保険金	—	16,310
特別利益合計	19	16,714
特別損失		
減損損失	—	2,426
災害による損失	—	9,683
その他	34,947	874
特別損失合計	34,947	12,985
税金等調整前四半期純利益	696,040	753,709
法人税、住民税及び事業税	150,770	258,841
法人税等調整額	142,308	27,873
法人税等合計	293,079	286,714
少数株主損益調整前四半期純利益	402,961	466,994
少数株主利益	—	—
四半期純利益	402,961	466,994



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	402,961	466,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,347	28,881
退職給付に係る調整額	—	△3,931
その他の包括利益合計	1,347	24,950
四半期包括利益	404,308	491,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	404,308	491,945
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	惣菜製造 事業	旅館、その 他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	23,739,203	4,857,463	3,817,046	789,561	437,608	33,640,883	—	33,640,883
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,582	112,000	11,875	240	22,110	148,809	△148,809	—
計	23,741,785	4,969,464	3,828,922	789,801	459,718	33,789,692	△148,809	33,640,883
セグメント利益 又は損失 (△)	497,993	296,668	230,688	△29,046	△40,099	956,204	△266,727	689,476

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△266,727千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△277,040千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	惣菜製造 事業	旅館、その 他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	24,429,924	4,938,892	3,710,688	686,925	561,862	34,328,294	—	34,328,294
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,917	105,892	12,253	—	1,856	121,920	△121,920	—
計	24,431,842	5,044,784	3,722,942	686,925	563,718	34,450,214	△121,920	34,328,294
セグメント利益 又は損失 (△)	667,155	326,088	229,145	△103,571	△151,839	966,977	△253,052	713,925

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△253,052千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△265,829千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。